

# 令和 4 年度地域包括支援センター一運営評価

# 令和4年度地域包括支援センター運営評価の実施方針

## 1 評価の目的

地域包括支援センターの人員体制及び業務状況を定期的に把握・評価し、事業の質の向上のために必要な改善を図り、地域包括ケアシステムの深化に向けた取組を加速させることを目的とする。

## 2 評価根拠

- 介護保険法第115条の46

市町村は、定期的に、地域包括支援センターにおける事業の実施状況において、評価を行うとともに、必要な措置を講じなければならない。

- 地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について

平成30年7月4日付け老振発0704第1号厚生労働省老健局振興課長通知により、「市長村及びセンターは、所定の評価指標による取組等の確認を行い、市町村は、自身の結果と管内センターの結果について、都道府県を通じて厚生労働省へ報告を行う」こととされている。

## 3 評価の流れ

- 評価項目ごとに地域包括支援センターが自己評価を行う。
- 青森県を通じて地域包括支援センターの自己評価の結果を厚生労働省へ報告する。
- 厚生労働省において、全国の結果を集計後、県を通じて結果が周知される。
- 地域包括支援センターの自己評価と厚生労働省が集計した全国の結果を、地域包括支援センター運營業務委託の契約継続の観点を含め、地域密着型サービス等運営審議会において点検を行い、地域包括支援センターの課題を踏まえた機能強化策の検討を行う。

## 4 評価結果の公表

- 評価結果は、今後の取組の質の向上のために、地域包括支援センターごとに7つの業務区分※に沿ってレーダーチャート化した上で、各地域包括支援センターに示すとともに市ホームページでも公表する。

※ 7つの業務区分

- 1 組織運営体制等（組織運営、個人情報管理、利用者満足向上）
- 2 個別業務（1）総合相談支援  
（2）権利擁護  
（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援  
（4）地域ケア会議  
（5）介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
- 3 事業間連携（社会保障充実分事業）

# 1 地域包括支援センターおきだて 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

## 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

### 【重点目標】

- ・地域における連携を今後も強化して継続しながら、相談できる関係づくりを専門職、地域住民のなかでも出来る仕組みづくりを行うため課題の把握や連携をさらに強化していく。
- ・地域住民、子世代・孫世代に認知症や認知症の方への対応について普及啓発し、認知症になっても地域で安心して暮らせるように認知症高齢者への見守り体制を構築し、多世代・他分野の課題を意識して幅広い分野の関係機関との連携を進め、包括的継続的ケアマネジメントの強化につながる環境整備に取り組む。
- ・コロナ禍で活動が見合わされてた地域活動の拠点と活動の再開に向けた支援を行っていく。
- ・地域住民がそれぞれの立場で理解し役割を持って生き生きと活躍できるように地域活動の活性化を図る。

### 【実施結果】

- ・地域における連携を今後も強化して継続していくこと、特に働く世代や若い世代への強化を今年度は実施してきた。相談できる関係づくりや相談しやすい関係づくりを地域、企業などへ普及啓発に努めてきたことから企業からの相談なども増え、協力できる体制も徐々にできてきている。

### 【評価・課題分析】

- ・地域における連携を重点的に活動してきたものの、今年度もコロナ禍であり感染予防の観点からワーキンググループの立ち上げはできなかったが、地域における連携と課題の把握と解決策の検討を図るため、地域ケア会議を毎月開催してきた。
- ・地域課題に関する取り組みも小グループ、地域、専門職を交えて連携作りもおこなってきた。
- ・地域住民への普及啓発、幅広い分野の関係機関との連携に関しても感染予防に努め可能な限り実施してきたがコロナ禍であり困難な部分もあった。

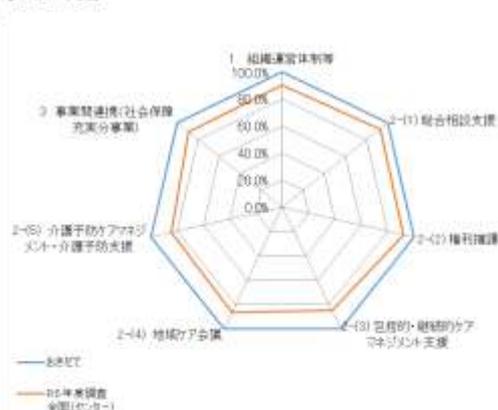
## 2. 活動実績

|        | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |
|--------|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|
|        |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |
| 1 おきだて | 685           | 1,157         | 3                   | 5            | 0            | 5           | 16            | 1                     | 6                   | 6             | 73                    | 2                       |

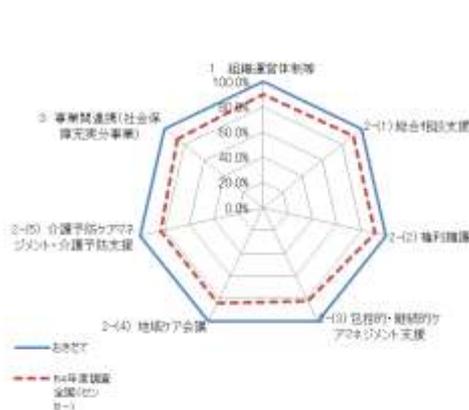
## 3. 運営評価

### (1) 令和4年度と令和3年度の比較

【令和4年度】



【令和3年度】



### (2) 令和4年度評価分析

- ・全て全国平均を上回っており、全ての項目が達成されている。

## 2 地域包括支援センターすずかけ 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

#### 【重点目標】

・日常的な地域活動及び地域ケア会議等を通じ、担当圏域における現状やニーズを把握し、重点的に行うべき業務を定めて実施する。

#### 【実施結果】

・新型コロナウイルス感染拡大の中、地域ケア会議や介護相談協力員研修会等の開催に困難さを感じたものの、問題解決策検討のための取組は行うことができた。  
・こころの縁側事業や集いの場の開催に関しても活動の場が制限された。

#### 【評価・課題分析】

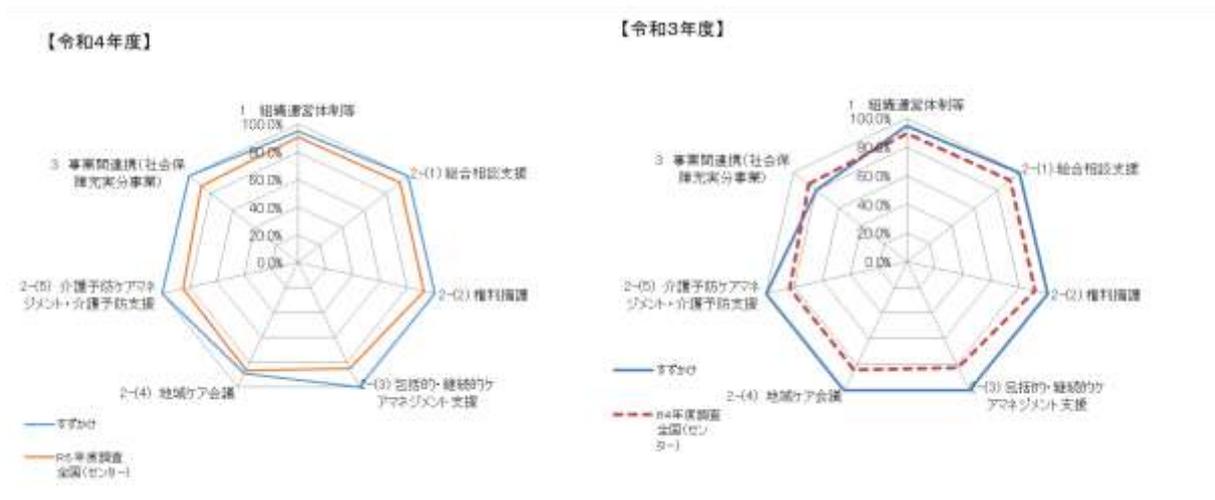
・当センターは老人保健施設内に併設されており、職員を介しての入所者・通所者へのコロナウイルス感染を予防するため、感染対策に細心の注意を払う必要があった。  
・会議等開催時は参加人数を最低限に調整し、密にならないよう自宅外において短時間で取り組むようにした。また、書面開催も試みた。

### 2. 活動実績

|   | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |   |
|---|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|---|
|   |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |   |
| 2 | すずかけ          | 652           | 2,290               | 8            | 7            | 0           | 7             | 12                    | 1                   | 3             | 3                     | 48                      | 2 |

### 3. 運営評価

#### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



#### (2) 令和4年度評価分析

- ・1組織運営体制等、2-(4)地域ケア会議以外、全て全国平均を上回っている。
- ・前年度と比較すると、3事業間連携は改善された。

| 評価指標 未達成のもの                                          | 要因                                    | 改善策                                          |
|------------------------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------|
| 1組織運営体制等<br>7 3職種(それぞれの準ずる者は含まない)を配置しているか。           | ・保健師に準ずる者(地域ケア等に関する経験のある看護師)を配置している。  | ・看護師を配置し人員基準は満たしていたが、令和5年8月に看護師の他に保健師も配置された。 |
| 2-(4)地域ケア会議<br>44 センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。 | ・個別ケース支援の会議は開催するものの、地域課題の検討までは至らなかった。 | ・研修会等を通じて地域課題の検討方法を学び効果的な会議を開催する。            |

### 3 中央地域包括支援センター 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

#### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

**【重点目標】**  
 ・圏域では、独居や高齢者世帯、認知症を有する高齢者が増加しており、チームオレンジの結成準備をはじめとした、認知症があっても住み慣れた地域で生活が継続できる地域づくりが必要であり、介護と医療の連携を強化していく。  
 ・民生委員や町会関係者、支え合い推進員などと情報共有を図り、困難ケースなど把握し、地域と繋がりを持ち支援を行っていく。  
 ・地域の関係機関との連携の強化を図り、早期解決に向けて、きめ細やかな対応を行い、ネットワークの構築を図る。

**【実施結果】**  
 ・地域のネットワーク作りの機会が少なかったが、徐々に対面での研修会が開催できている。  
 ・チームオレンジの結成として、研修会等を通じての啓発活動を開催できた。

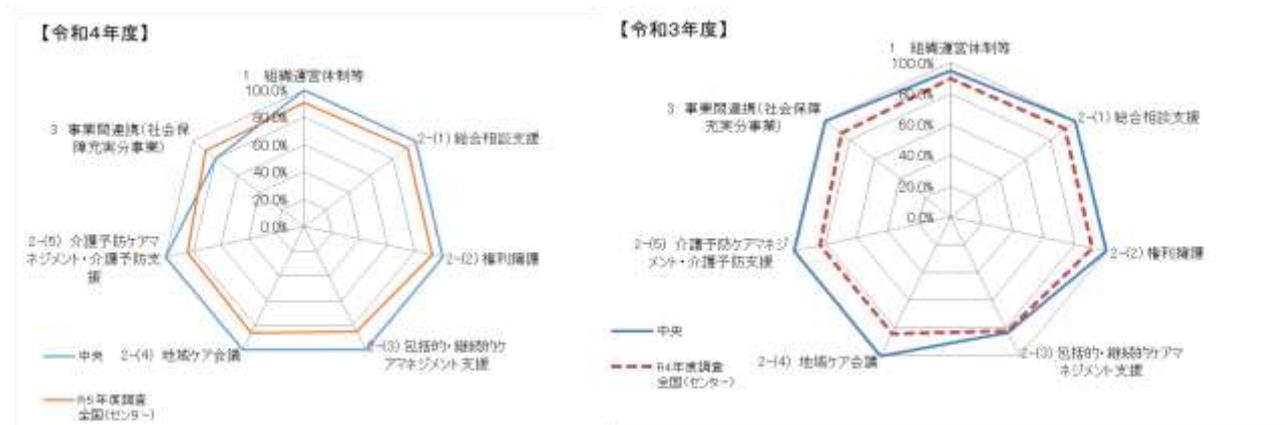
**【評価・課題分析】**  
 ・今後も認知症に理解がある地域づくりを目標に、地域住民や各関係機関とも協力しながら、チームオレンジの結成に向け、意見交換や研修会を開催していく。

#### 2. 活動実績

|   | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |   |
|---|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|---|
|   |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |   |
| 3 | 中央            | 672           | 1,342               | 1            | 0            | 0           | 5             | 9                     | 0                   | 4             | 4                     | 105                     | 2 |

#### 3. 運営評価

##### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



##### (2) 令和4年度評価分析

- ・3事業間連携(社会保障充実分事業)以外は、全て全国平均を上回っている。
- ・前年度と比較すると、2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援が改善された。

| 評価指標 未達成のもの                                                              | 要因                                                  | 改善策                                      |
|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 3事業間連携(社会保障充実分事業)<br>55 生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。 | ・地域ケア会議等の開催はしたものの、コロナ禍により、参加者の制限等を行っており、連携が不十分であった。 | ・地域ケア会議や地域支え合い会議等、それぞれが開催する会議において、連携を図る。 |

## 4 東青森地域包括支援センター 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

#### 【重点目標】

- ・介護予防普及啓発活動の周知を図り、定期的な運動の動機づけを行うことで住民が主体となって継続的に集える場について、新規発掘を行う。
- ・既に住民主体へ移行している活動団体について、今後も連携を図り後方支援を行っていくとともに、新型コロナウイルス感染症予防対策を取り入れた運営の助言等、活動の継続支援へも力を入れていく。
- ・地域包括支援センターの役割や活動内容を、若い世代を含めてより多くの住民へも周知し、地域で支援を必要とする方の早期把握と対応につなげていく。
- ・医療関係者、介護関係者との連携を強化するとともに、地域における繋がりを活かしながらネットワークを構築し、新たな社会資源をつないでいくことで多様性を持った支援体制を構築する。
- ・成年後見制度や高齢者虐待等権利侵害に遭っている高齢者の早期発見、早期対応に繋がれるよう、介護・医療従事者及び地域住民へ権利擁護に関する普及・啓発活動を継続する。
- ・会議や研修等において安易に対面できない場合はオンラインを活用する等、他の手段を検討することで安定的に業務を遂行し、要支援者に影響のないよう配慮していく。

#### 【実施結果】

- ・出前講座先で介護予防にかかる地域包括支援センターの活動支援について情報提供し、積極的な活用の呼びかけを継続。新規団体の立ち上げ及び再開を支援し、既存団体を含めて自主活動化を達成することができた。
- ・既に住民主体へ移行している団体へ後方支援を行うことで安定的な運営に寄与することができた。
- ・要支援者の早期把握・対応に繋がれるよう、広報誌の活用や地域活動に出向き、地域包括支援センターの役割や活動内容等の周知を行った。
- ・地域ケア会議や個別ケースの対応の過程において、医療・介護従事者ほか幅広い関係者と連携を図るとともに、ネットワークを構築することができた。
- ・成年後見制度の相談や高齢者虐待通報に対して迅速な対応に努め、地域住民及び介護従事者を対象とした研修会の開催や出前講座先での情報発信等、権利擁護に関する普及・啓発活動を行った。
- ・認知症に対する地域住民の偏見を解消し安心して暮らせる地域の実現のため、認知症カフェや認知症サポーター養成講座等開催し、チームオレンジの立ち上げと活動開始に向けた準備を進めている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議や研修等において会場集合型の対応を避ける傾向にあったが、オンライン環境の整備・活用、他手段を検討する等、状況に応じた対応を工夫し業務を遂行した。

#### 【評価・課題分析】

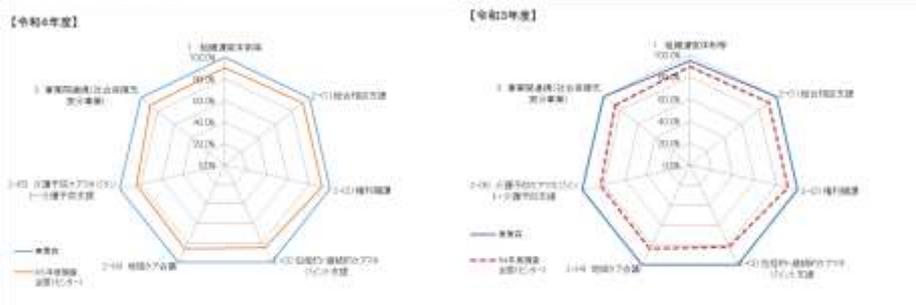
- ・新型コロナウイルス感染症の対応策の定着と規制緩和に加え、圏域中心部の会場環境が整ったという背景もあり、新規団体の立ち上げと自主化に繋がった。
- ・地域住民の中には、介護予防の必要性を感じていても会場やまとめ役の不足が原因で団体の立ち上げに困難さや立ち上げ後の不安を抱え、住民主体で運営することの課題となっていた。
- ・今後も活動団体の新規開拓を行っていくとともに、既存団体の後方支援へも力を入れ、高齢者の社会参加、生きがいや介護予防に繋がれるよう努めていく。
- ・地域ケア会議や各種研修会で、医療・介護従事者、地域関係者とネットワークの構築を図ることができた。
- ・今後も地域における繋がりを活かしながら多様性を持った支援体制を整備するとともに必要な支援が効率的・効果的に提供されるよう、関わりを継続していく。
- ・権利擁護に関する相談は増加傾向にあり、権利擁護について普及啓発活動を継続することで地域住民や介護従事者等へ徐々に気づきの視点が養成され、相談窓口についても認知されてきたように感じる。
- ・特に、認知症高齢者は権利侵害に遭遇するリスクが高く、安心して暮らせる地域の実現のため、認知症へ適切に対応するための体制づくりやチームオレンジ等地域関係者との連携による見守りネットワークの構築は今後も重要であり、引き続き推進していく。
- ・コロナ禍においても要支援者及び支援関係者への対応が滞ることのないよう、各種会議や研修会、相談対応の在り方を工夫し、柔軟に対応することができた。
- ・今後も様々な状況下において業務遂行に影響のない支援体制づくりに努めていく。

### 2. 活動実績

|       | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回)<br>※ | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |
|-------|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|--------------------|-----------------------|-------------------------|
|       |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |                    |                       |                         |
| 4 東青森 | 1,838         | 3,478         | 14                  | 13           | 3            | 3           | 15            | 0                     | 9                   | 4                  | 72                    | 2                       |

### 3. 運営評価

#### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



#### (2) 令和4年度評価分析

- ・全て全国平均を上回っており、全ての項目が達成されている。
- ・前年度と比較すると、1組織運営体制等が改善された。

## 5 南地域包括支援センター 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

**【重点目標】**

- ・地域ケア会議で協議した認知症高齢者の実態把握の分析を進め、積極的に地域に出向き地域住民の声を聞く。
- ・地域住民に対して、認知症になっても地域で暮らすための理解を図り、認知症の早期発見・早期治療に繋がるように地域包括支援センターの周知をより一層推進していく。
- ・チームオレンジ立ち上げに向けて、市や地域支え合い推進員と連携して取り組む。
- ・複合的・長期化する相談が増加していることから、多機関との連携体制の構築をより一層図り、センター職員の知識やスキルアップを図っていく。
- ・地域活動の継続支援、新規開拓により、地域での支え合いや社会参加、介護予防・重症化防止、フレイル予防を推進する。また、次世代の地域活動の担い手を育成していく。
- ・地域ケア会議、総合相談、介護予防対象者把握事業の情報を分析して地区別の地域課題を整理・把握し、課題を施策形成へ繋げる。

**【実施結果】**

- ・様々なデータの分析から優先度の高い地区を候補に挙げて、その地区で地域ケア会議や認知症の講座の機会にチームオレンジ立ち上げに向けた説明を行い、認知症当事者のニーズから、集いの場づくりが進んでいる。
- ・複合的な課題を抱えるケース支援では、多機関との連携や地域ケア会議のチームアプローチを通してセンター内の対応力向上を図った
- ・ロコトレ、認知症カフェの継続開催や新規開拓により、活動の場作りが進んでいる。
- ・活動の場を通じて、市民や民生委員から相談があり、実態把握や支援に繋がるなど好循環となっている。
- ・広報誌の配布を通じて町会長との関係性作りと地域包括支援センターの役割について周知を図った。
- ・地域課題である高齢者の低栄養に関して、課題解決の取組みを居宅部会で行った。
- ・総合相談、対象者把握事業について課題抽出したが、具体的な政策への提言や地域資源の発掘・整理に至らなかった。

**【評価・課題分析】**

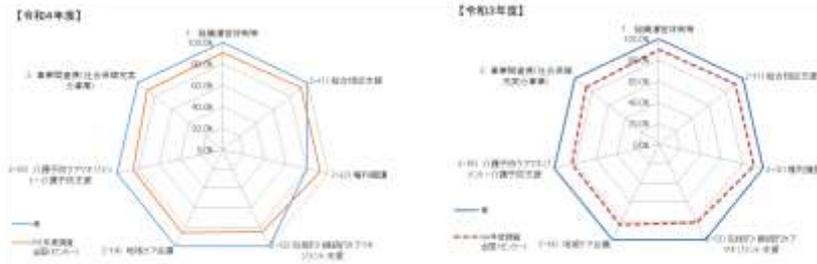
- ・チームオレンジ立ち上げに向けて、講座の開催など準備を進めたものの、参加者の高齢化や認知症へのネガティブなイメージが背景にあり立ち上げには至らなかった。
- ・活動の担い手を育成していくこと、さらに若年層・子育て世代・職域にまで対象を広げて認知症やチームオレンジについて広く周知を行っていくこと等が課題と考える。
- ・相談協力員の研修会を通じて、認知症の理解に地域の温度差があることがわかった。民生委員改選もあったため、認知症への理解を深める働きかけが必要。
- ・地域共生社会の実現に向けて、個別のケースワークの視点のみではなく、背景にある地域課題を発見し、誰もが住みよい地域作りにはいかにかついでいくかという視点を持つことも課題であるとする。
- ・地域のつどい場がない地区の介護予防対象者把握を実施することで、全体としての地域の特徴や課題を知ることができた。
- ・コロナ禍において地域活動の再開がなされていない地区があり、今後再開に向けた支援が必要。
- ・フレイルや認知機能低下の実態把握が進まず、潜在的に支援が必要なケースの発見が困難な状況が続いている。
- ・地域ケア個別会議では、ケアマネ支援の視点を強化し専門職の選定や実施後のフォローなどを行った。
- ・会議実施後の支援についての分析を引き続き行い、より効果的な会議の進め方について検討していく必要がある。
- ・令和4年度のみではケース量が不足しているため、今後もケースを積み重ね、地域別に分析し地域課題を整理していく。
- ・地域課題の発見の仕方について、総合相談の分析、地域ケア個別会議、対象者把握事業、地区活動の場を通じた実態把握内容、地域住民の声等とも連動して検討していくことが課題。
- ・圏域部会や行政等とも協働して地域の課題解決のための取組を実施していくことが課題。

### 2. 活動実績

|     | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |
|-----|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|
|     |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |
| 5 南 | 977           | 1,635         | 8                   | 2            | 0            | 14          | 15            | 1                     | 10                  | 20            | 67                    | 2                       |

### 3. 運営評価

#### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



#### (2) 令和4年度評価分析

- ・2-(2)権利擁護以外、すべて全国平均を上回っている。
- ・前年度と比較すると、2-(2)権利擁護にできない項目があった。

| 評価指標 未達成のもの                                                           | 要因                                                   | 改善策                               |
|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 2-(2)権利擁護<br>30 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員支援・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。 | ・成年後見制度等に関する講話や出前講座等は行ったものの、消費者被害に関する情報提供を実施していなかった。 | ・消費者被害に関する情報についても民生委員等への情報提供に取組む。 |

## 6 東部地域包括支援センター 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

#### 【重点目標】

- ・圏域の後期高齢者の高血圧症と便秘について予防・改善を図る。
- ・急速に進む高齢化や新型コロナウイルス感染症に伴うフレイルや高齢者うつを予防する。
- ・圏域の権利擁護に対する意識を高める。
- ・地域支え合い推進員との情報交換で、地域住民のニーズや課題を把握・共有する。
- ・認知症の早期発見・早期治療の必要性を周知する。
- ・社会資源訪問(今年度は理美容店を中心に)にて地域のニーズに活用できる資源情報を把握し、社会資源マップの整理・更新を行うと共に、センターの活動を周知し連携を模索する。
- ・対面に代わる広報・周知手段を検討する。
- ・相談機会の多様化と、相談の掘り起こしを図る。
- ・圏域内の事業対象者や要支援認定者の自立や介護予防を図る。

#### 【実施結果】

- ・重点目標だった高血圧、フレイル、うつの予防について、出前講座や広報誌を回覧するなどして周知を図ることができた。
- ・権利擁護について、ロコトレや認知症カフェで話題提供したり、研修会の機会に医療、介護事業所に対して意識付けを促した。
- ・地域支え合い推進員と情報交換会により連携の強化を図ったが、地域のニーズ把握には至らなかった。
- ・広報誌でメールやFAXによる対応の周知を図ったがホームページの活用はできなかった。
- ・研修会で医療、介護事業所に認知症の早期発見・早期治療の必要性を周知した。
- ・地域包括支援センターの周知と高齢者の実態把握のため、理美容店等社会資源の訪問や出張相談会を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大によりできなかった地区もあったが、出張相談会をきっかけにロコトレ自主団体を立ち上げることができた地区もあった。

#### 【評価・課題分析】

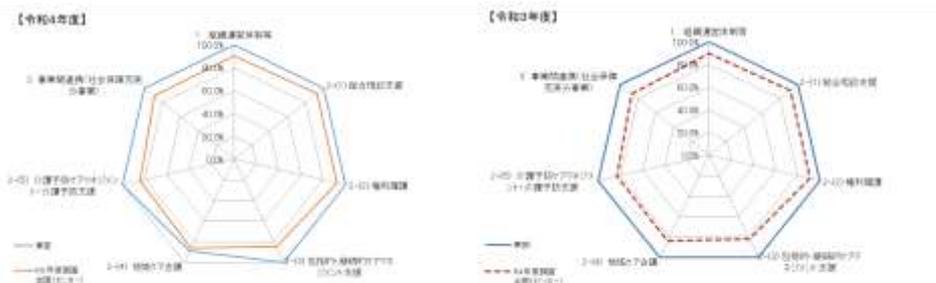
- ・地域の集いに参加している住民に対しては生活習慣病や介護予防、認知症について周知しているが、参加していない方にも周知できるよう回覧板を活用していく必要がある。
- ・権利擁護の出前講座はできなかったが、広報誌や研修会を通じて意識を高める活動ができた。
- ・認知症に関する広報活動や研修会を行うなかで、理解や認識不足、差別意識があることを知った。正しい認識を持てるよう広報活動と共に、相談会や勉強会の必要を感じた。
- ・地域の集いがない地区で「介護・医療出張相談会」を開催していきたい。
- ・さまざまな媒体を活用し、介護予防や権利擁護、地域包括支援センターについての広報・周知活動を展開していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により進まなかった社会資源訪問について、アプローチの検討やインターネットによる情報把握等さまざまな手段を用いて社会資源の把握と連携ができるよう対応していく。

### 2. 活動実績

| 地域   | 実施把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |
|------|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|
|      |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |
| 6 東部 | 538           | 1,868         | 19                  | 4            | 2            | 0           | 12            | 1                     | 7                   | 4             | 92                    | 2                       |

### 3. 運営評価

#### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



#### (2) 令和4年度評価分析

- ・2-(4)地域ケア会議以外、全て全国平均を上回っている。
- ・前年度と比較すると、2-(4)地域ケア会議にできない項目があった。

| 評価指標 未達成のもの                                      | 要因                                    | 改善策                               |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 4地域ケア会議<br>44 センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。 | ・個別ケース支援の会議は開催するものの、地域課題の検討までは至らなかった。 | ・研修会等を通じて地域課題の検討方法を学び効果的な会議を開催する。 |

# 7 おおの地域包括支援センター 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

## 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

**【重点目標】**

- ・地域の住民・事業所と顔の見える関係作りをおこない、何でも相談できる存在としての包括を目指す。
- ・認知症になっても住み続けられるまちを目指しチームオレンジを立ち上げる。
- ・自立支援・重度化防止に向けて、介護予防の視点をもち多職種と連携を図れるシステム構築を目指す。
- ・地域の活動に積極的に参加・支援を行いながら、様々な連携を強化していく。

**【実施結果】**

- ・地域の活動や集会などコロナ感染の影響で中止となり顔を合わせての交流などの機会が少なかったが、活動継続している場を包括だよりで紹介したりすることで休会になっている場へ刺激を与えつつ、声かけを続けている。
- ・地域ケア会議はZOOMなどを利用し、ハイブリット型会議で毎月の実施ができ多職種(居宅・訪問看護・薬局・デイサービス・GH・リハビリ(PT,OT,ST)・栄養士・等)が参加し情報交換共有を行っている。
- ・チームオレンジ「つながり隊」を結成し認知症カフェを拠点とした活動を行っている。
- ・チームオレンジメンバーと協力し、工夫しながらカフェを継続開催出来ている。
- ・市の認知症フォーラムでの活動紹介やメンバーの運営ボランティア参加等行うことができ、周囲から評価してもらっている事で自身に繋がっており、次回の活動意欲が出ている。
- ・チームオレンジの活動内容について、ムービーで紹介する事でより周囲に活動が具体的に伝わる事ができた。

**【評価・課題分析】**

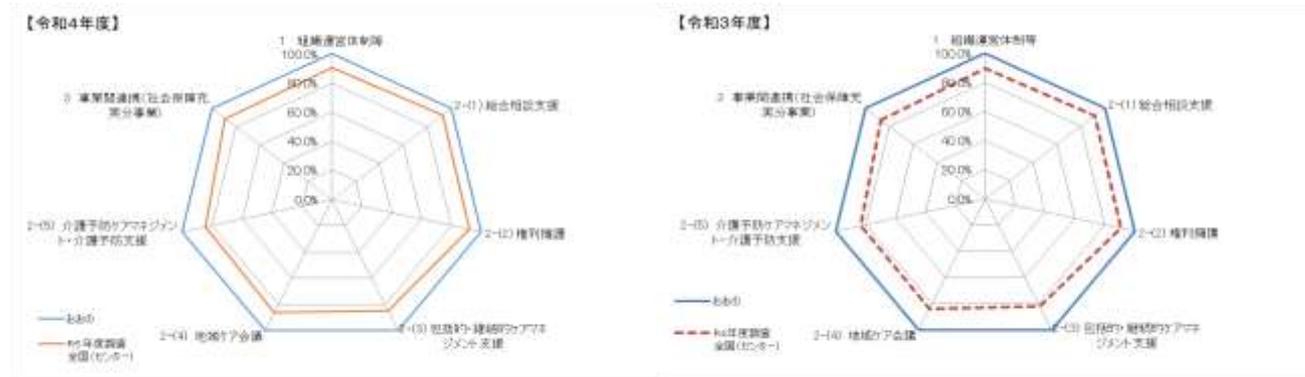
- ・コロナ感染対策を取りながら地域の活動支援を行っている。
- ・ZOOMを使った会議ではチャットの利用で質問が多く集まり、グループワークも参加者も慣れて来て意見も多く出てきている。運営も参加者も共に成長出来ている。
- ・見守り活動については、つながり隊の活動を周囲に伝えながらより認知症サポーター養成も行い地域がより繋がれるネットワークづくりを目指す。

## 2. 活動実績

|   | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |   |
|---|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|---|
|   |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |   |
| 7 | おおの           | 1,118         | 1,801               | 5            | 8            | 0           | 0             | 14                    | 1                   | 3             | 12                    | 90                      | 2 |

## 3. 運営評価

### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



### (2) 令和4年度活動実績

- ・全て全国平均を上回っており、全ての項目が達成されている。

## 8 地域包括支援センター寿永 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

#### 【重点目標】

・介護予防・生きがいつくりの推進  
 「地域の高齢者が健康を保ち、いきいきと自分らしく暮らし続けることができるよう介護予防・重度化防止に積極的に取り組むことができる環境づくり」をすすめる。

#### 【実施結果】

・関係機関及び地域から寄せられた相談に丁寧に対応し、必要時適切な機関に繋ぐ支援を行った。  
 ・重度化する前に相談に繋がるように広報誌、ホームページの活用及び地域の団体へ出向き、出前講座や認知症カフェを通して介護予防・フレイル予防・健康づくりの推進・多様なつどいの中で啓発活動を行った。

#### 【評価・課題分析】

・地域団体との話し合いの場を設けることで、相談しやすい関係性を築き易いことから、地域の見守りの目を増やすことや対応力の向上と共に、早めの相談に繋げてもらうためにも多様な媒体を通して、今後も啓発活動を続けていく。  
 ・住民自らが選択し、介護予防・重度化防止に向けた取り組みを行うことができるように適宜情報提供を行うことで、地域住民のセルフケアに関する意識や行動変容をサポートすることができている。

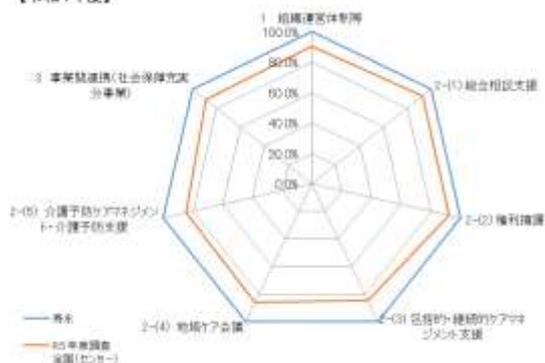
### 2. 活動実績

|      | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |
|------|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|
|      |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |
| 8 寿永 | 625           | 2,771         | 39                  | 46           | 0            | 9           | 12            | 1                     | 4                   | 5             | 81                    | 2                       |

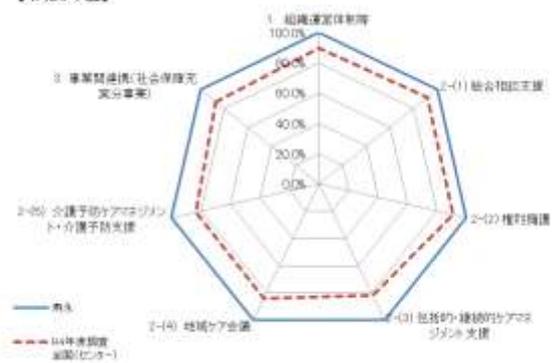
### 3. 運営評価

#### (1) 令和4年度と令和3年度の比較

【令和4年度】



【令和3年度】



#### (2) 令和4年度評価分析

・全て全国平均を上回っており、全ての項目が達成されている。

## 9 地域包括支援センターのぎわ 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

#### 【重点目標】

- ・地域住民や地域の各種関係機関等が参加している地域支援ネットワーク会議(日常生活圏域ケア会議)の継続及び新たな地域での開催を目指し、担当圏域の地域課題の抽出や検討を行う。
- ・地域資源の再把握。
- ・出前講座や出張相談会の継続により、健康増進への意識づけや動機づけ及び地域包括支援センターの周知を行う。
- ・自立支援や権利擁護の視点に基づいた支援を行う。
- ・地域包括支援センター職員の専門職としてのスキルアップや資質の向上に努める。

#### 【実施結果】

- ・地域ケア個別会議により地域課題は抽出されたが、新型コロナウイルス感染拡大にて殆どの地域で活動が休止状態。そのため、地域支援ネットワーク会議は開催できなかった。
- ・担当エリア内の社会資源マップを見直し、既存の冊子を更新。担当エリア内事業所や各町会町会長、高齢者介護相談協力員等へ配布することができた。
- ・毎戸訪問を行った地区では、地域を把握すると共に地域包括支援センターを周知することができ、高齢者の介護相談につながったケースがあった。
- ・依頼のある町会や団体においては出前講座を実施できたが、活動を休止している地域に関しては実施できていない。そのため、広報誌を作成し、各町会の町会長を通じて回覧版にて住民へ回覧。生協出張相談会は4～11月まで月2回実施。地域包括支援センターの周知やフレイル予防等についてチラシを配布できた。
- ・総合相談において、多問題ケースが多い傾向。多様なニーズや長期化するケース等は、地域ケア個別会議を開催し、多職種間で検討しながら支援することができた。
- ・地域包括支援センター内において、「体力測定の方法」、「チームオレンジについて」の勉強会を実施することができた。

#### 【評価・課題分析】

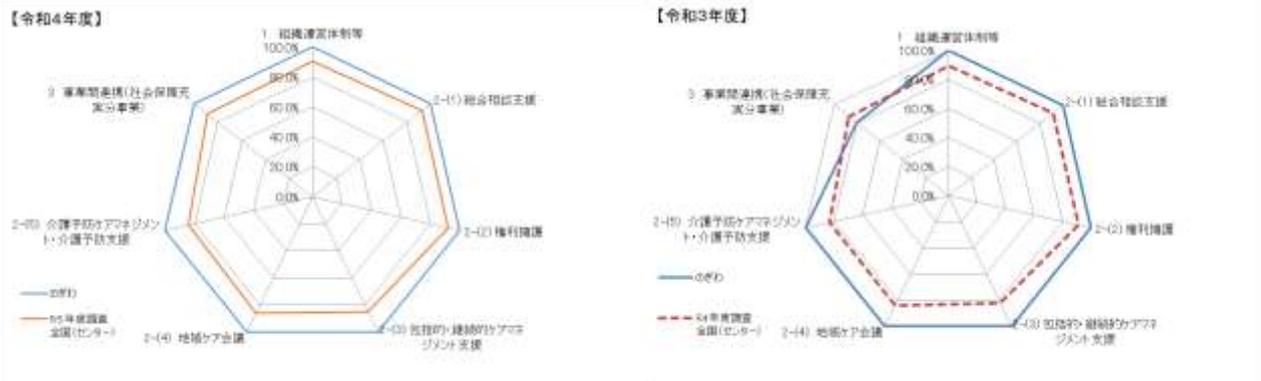
- ・コロナ禍でも様々な事業のやり方、また、地域課題を解決するためにできることを検討し、工夫する必要がある。
- ・支援が必要な精神疾患や知的障害の子との同居世帯等について全て把握できていないが、コロナ禍においても相談しやすい環境をつくるため、町会長や民生委員等、地域の方との顔の見える関係づくりを継続する必要がある。

### 2. 活動実績

|   | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |   |
|---|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|---|
|   |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |   |
| 9 | のぎわ           | 457           | 2,066               | 8            | 5            | 0           | 0             | 7                     | 1                   | 5             | 12                    | 61                      | 2 |

### 3. 運営評価

#### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



#### (2) 令和4年度評価分析

- ・全て全国平均を上回っており、全ての項目が達成されている。
- ・前年度と比較すると、3事業者間連携が改善された。

# 10 地域包括支援センターみちのく 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

## 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

**【重点目標】**

- ・地域包括支援センターの周知活動を継続して行う。
- ・中でも介護予防事普及啓事業や実態把握件数を多くすることで、地域の高齢者の現状を理解し適切な介護予防に関する活動を重点的に行う。
- ・そのためには各地域への出前講座や出張相談等の機会を設けポピュレーションアプローチを含めた健康教室や認知症理解への取り組みとした脳の健康チェック等を組み合わせた包括的な内容の開催を行う。
- ・地域の民生委員、高齢者介護相談協力員との関わりを強くするため連携機会を設け、高齢者支援に関する協力員やボランティア参加者を増やす活動を行う。

**【実施結果】**

- ・地域包括支援センターの普及啓発活動に関しては、継続的な重点目標としていたが、コロナ禍での活動の制限がある中、圏域内の町会への出前講座やいきいきサロンなどへの参加、圏域内での心の縁側事業への参加、また、認知症カフェも開催場所を一か所増やすなど試みた結果、地域への関わりを増やすことができた。
- ・介護予防普及啓発事業に関しては、体力測定や出前講座等の開催を定期的に行うことができた。
- ・相談協力員や民生委員との連携強化に関しては、個別訪問が出来ず達成はできなかった。

**【評価・課題分析】**

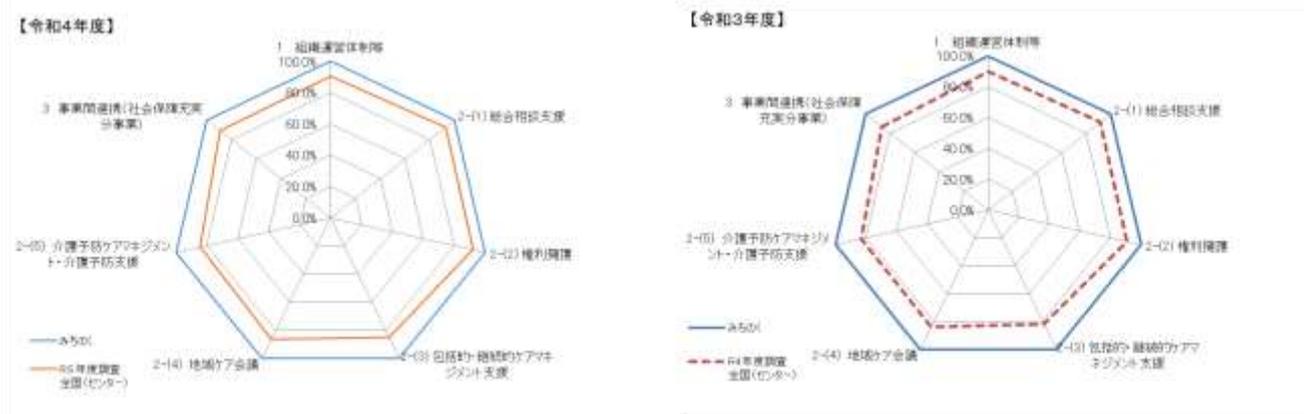
- ・コロナ禍において活動を停止している町会や団体も多く、その中でも比較的継続的に心の縁側などの活動をしている団体とは体力測定や出前講座等を継続して開催することが出来た。
- ・認知症に関する活動として認知症カフェの開催場所を一か所増やし、認知症サポーター養成講座やステップアップ研修等の開催とチームオレンジへの参加者との関係構築の足掛かりができた。
- ・相談協力員に関しては研修参加者が少ないこともありZOOMを活用しハイブリット型の研修会として開催を行った。個別の訪問はできなかったが次年度の課題として引き続き行いたい。

## 2. 活動実績

|    | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |   |
|----|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|---|
|    |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |   |
| 10 | みちのく          | 691           | 1,678               | 11           | 7            | 1           | 1             | 12                    | 0                   | 6             | 8                     | 77                      | 2 |

## 3. 運営評価

### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



### (2) 令和4年度評価分析

- ・全て全国平均を上回っており、全ての項目が達成されている。

# 11 地域包括支援センター浪岡 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

## 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

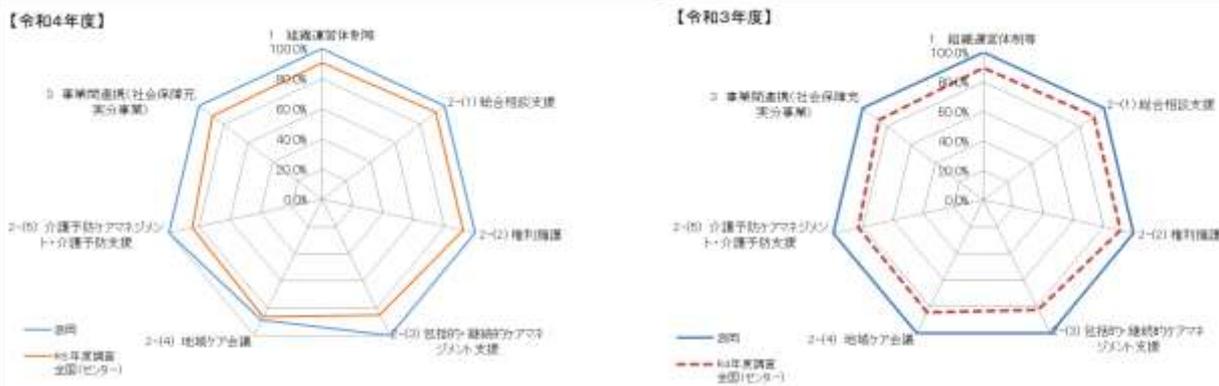
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【重点目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における関係機関との相互理解と連携を図る。</li> <li>・フレイル予防について包括内でも共通認識を持ち、地域への周知を図る。</li> <li>・地域課題につなげるため、地域ケア会議開催方法の見直し。</li> </ul>                                                                                                                                                            |
| <p><b>【実施結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の多職種間の顔の見える関係作りにより、介護支援専門員が中心となってサービス事業所を含む支援チーム全体で様々な問題を解決していく仕組みとして、浪岡介護・障がい・医療連携「つどいの場 やまばと」を立ち上げ、第1回の研修会を開催した。</li> <li>・フレイル予防に関しては、青森市地域包括支援センター連絡会保健師・看護師専門分科会において開催した勉強会等にて知識を深め、出前講座を開催した。</li> <li>・地域ケア会議では、圏域以外の包括支援センター職員にも参加を依頼し、開催方法等について意見交換を行った。</li> </ul> |
| <p><b>【評価・課題分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在介・障がい・医療連携、つどいの場について、研修会の開催は一回のみだったが、今後も定期的に行う必要がある。</li> <li>・フレイル予防に関して、依頼のあった団体に対して実施したが、限られた団体であったため、他の団体に対してのPRが必要である。</li> <li>・地域ケア会議は地域の課題を日常生活圏域ケア会議に発展させることが出来ていないため、年間で開催された地域ケア会議について、包括内で整理していく必要がある。</li> </ul>                                               |

## 2. 活動実績

|    | 実態把握<br>(延人数) | 総合相談<br>件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |              |              |             | 地域ケア<br>会議(回) | 認知症多職<br>種協働研修<br>(回) | 脳の健康<br>チェック<br>(回) | 認知症<br>カフェ(回) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>(人) | 高齢者介護<br>相談協力員<br>研修(回) |   |
|----|---------------|---------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-----------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-------------------------|---|
|    |               |               | 成年後見<br>制度(件)       | 高齢者虐<br>待(件) | 消費者被<br>害(件) | 困難事例<br>(件) |               |                       |                     |               |                       |                         |   |
| 11 | 浪岡            | 1,238         | 2,562               | 19           | 9            | 0           | 5             | 10                    | 1                   | 4             | 6                     | 48                      | 2 |

## 3. 運営評価

### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



### (2) 令和4年度評価分析

- ・2-(4)地域ケア会議以外、全て全国平均を上回っている。
- ・前年度と比較すると、2-(4)地域ケア会議にできない項目があった。

| 評価指標 未達成のもの                                     | 要因                                    | 改善策                               |
|-------------------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 4地域ケア会議<br>44センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。 | ・個別ケース支援の会議は開催するものの、地域課題の検討までは至らなかった。 | ・研修会等を通じて地域課題の検討方法を学び効果的な会議を開催する。 |

## 12 青森市 令和4年度活動状況と運営評価結果の概要

### 1. 活動状況 (令和4年度地域包括支援センター事業計画及び事業報告より抜粋)

#### 【重点目標】

- ・【地域包括支援センターに関する施策】 青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第8期計画(R3年度～R5年度)から抜粋  
「地域包括支援センターの機能の充実」
  - ・地域包括支援センターの体制強化
  - ・他機関との連携強化
  - ・効果的な運営の継続
  - ・地域ケア会議の推進

#### 【実施結果】

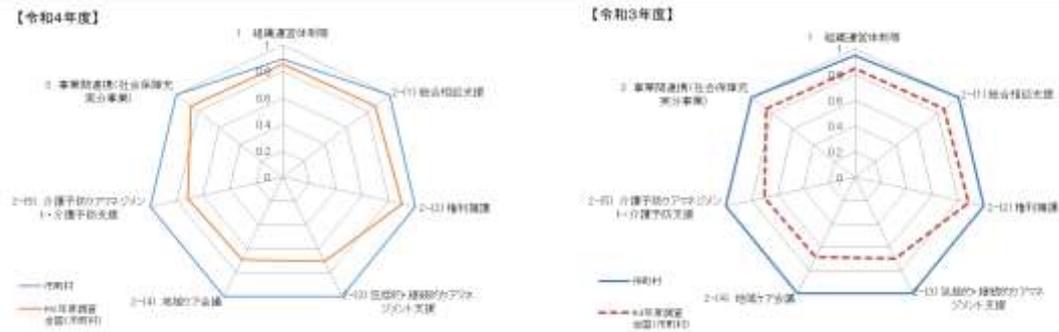
- ・基幹型地域包括支援センターとして、各地域包括支援センターの統括調整や人材育成、後方支援などを実施した。
- ・各地域包括支援センターと包括評価の結果や包括の活動について個別に意見交換を行い、情報を共有した。
- ・新型コロナウイルスの影響のため、ZOOMを用いるなどし、会議や研修会を開催した。
- ・各圏域の虐待や認知症などの対応困難な事例について、相談に応じ、同行訪問等の支援を行った。
- ・認知症地域支援推進員と連携し、チームオレンジの活動支援を行った。
- ・地域包括支援センター等の協力のもと、青森市認知症フォーラムを開催した。
- ・青森市地域密着型サービス等運営審議会において、地域包括支援センターの評価を行い、運営状況等について情報を公開した。
- ・地域ケア会議に参加し、地域課題を共有し活動の支援を行った。
- ・地域支援包括支援センターや栄養士会等の参加を得て、「低栄養について」をテーマとした地域ケア推進会議を開催した。

#### 【評価・課題分析】

- ・各地域包括支援センターの評価が改善され、各包括の機能の充実を図ることができた。
- ・地域包括支援センター連絡会やセンター長会議を活用し、情報の共有及び協議を繰り返し行い連携を強化することができた。
- ・地域ケア会議への参加や困難事例への支援対応等、また、人材育成のための研修会の開催等により各包括の後方支援を実施し、運営継続のための支援ができた。
- ・新たな取組であるチームオレンジの設置により、地域包括支援センターや関係機関との連携を図ることができた。
- ・青森市認知症フォーラムの開催により、認知症についての普及・啓発を図ることができ、関係機関との連携が深まった。
- ・地域ケア推進会議の開催により、低栄養についての課題を掘り下げ、検討することができた。

### 2. 運営評価

#### (1) 令和4年度と令和3年度の比較



#### (2) 令和4年度評価分析

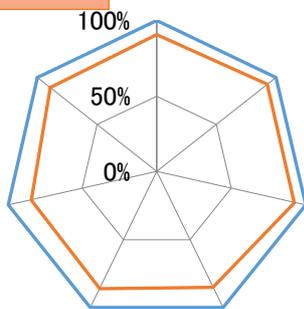
- ・全て全国平均を上回っている。
- ・前年度と比較すると、1組織運営体制等が改善されなかった。

| 評価指標 未達成のもの                                                         | 要因                                                                         | 改善策                                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1組織・運営体制等<br>3 前年度における運営協議会での議論を踏まえ、センターの運営方針、センターへの支援・指導の内容を改善したか。 | ・評価指標に、令和4年度に開催した運営協議会で、意見または指摘が出されなかった場合は、指標の内容を満たしていないものとして取り扱うと記載されている。 | ・運営協議会の議論では、センターの運営方針、センターへの支援・指導の内容についての意見・指摘がなかったことから、今後は、意見をいただくこととする。                                      |
| 8 センターの三職種(準ずる者含む)一人当たり高齢者数(全圏域内の高齢者数/全センター人員)の状況が1,500人以下であるか。     | ・職員一人当たり高齢者数は、1,515人である。                                                   | ・本評価では、1,500人を指標としており、昨年よりはI包括につき64人減少しているものの、未達成となった。なお、「青森市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例」に定める人員基準は満たしている。 |

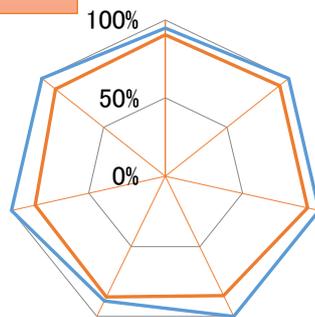
# 令和4年度地域包括支援センター運営評価 レーダーチャート一覧

— 各自己評価  
— 全国平均

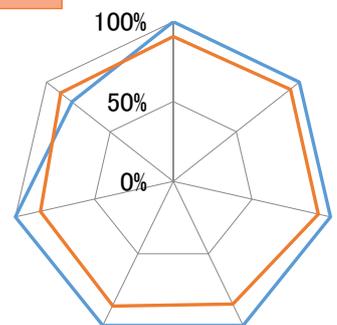
1 おきだて



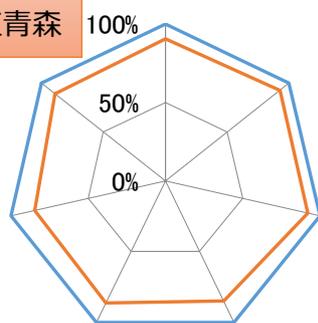
2 すずかけ



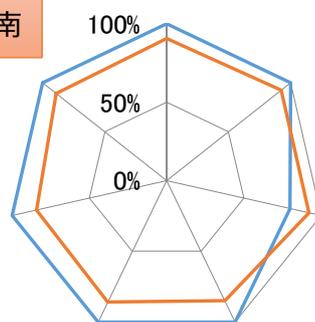
3 中央



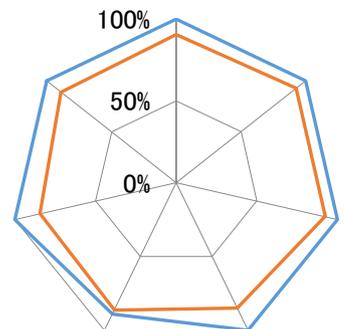
4 東青森



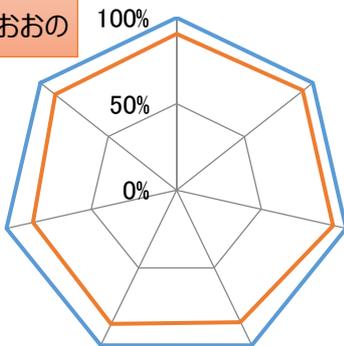
5 南



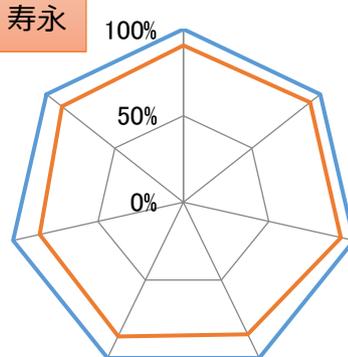
6 東部



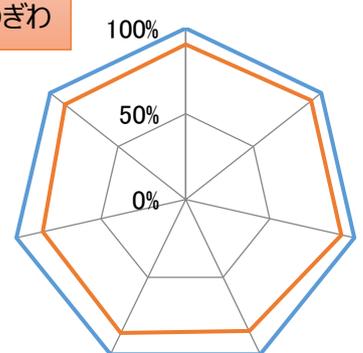
7 おおの



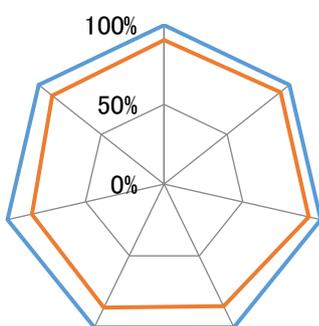
8 寿永



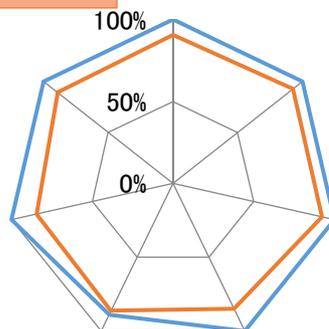
9 のぎわ



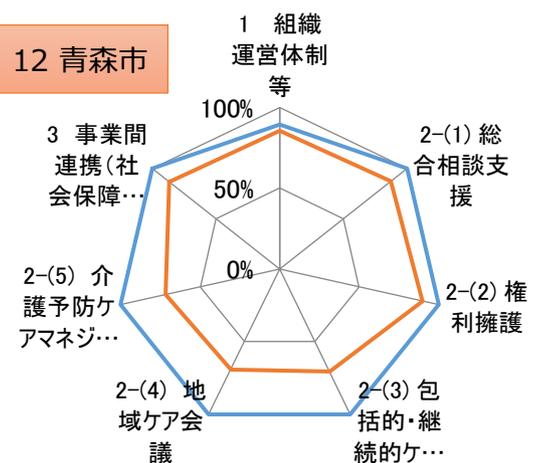
10 みちのく



11 浪岡



12 青森市



# 青森市地域包括支援センターの活動実績一覧

## (1) 各日常生活圏域の基本情報について(R4.4月末時点)

|    |      | 高齢者人口(人) | 職員数(人) | 職員一人あたりの人口(人) | 高齢化率   |
|----|------|----------|--------|---------------|--------|
| 1  | おきだて | 7,979    | 5      | 1,596         | 31.48% |
| 2  | すずかけ | 9,015    | 5      | 1,803         | 30.76% |
| 3  | 中央   | 8,171    | 7      | 1,167         | 35.84% |
| 4  | 東青森  | 8,887    | 5      | 1,777         | 31.78% |
| 5  | 南    | 9,075    | 6      | 1,513         | 32.45% |
| 6  | 東部   | 8,470    | 5      | 1,694         | 39.59% |
| 7  | おおの  | 9,261    | 5      | 1,852         | 25.58% |
| 8  | 寿永   | 7,976    | 6      | 1,329         | 33.58% |
| 9  | のぎわ  | 7,287    | 5      | 1,457         | 36.37% |
| 10 | みちのく | 6,049    | 6      | 1,008         | 34.19% |
| 11 | 浪岡   | 5,892    | 4      | 1,473         | 34.66% |
|    | 合計   | 88,062   | 59     | 1,493         | 32.68% |

## (2) 令和4年度の活動状況

|    |      | 実態把握(延人数) | 総合相談件数(件) | 総合相談のうち権利擁護に関する相談件数 |          |          |         | 地域ケア会議(回) | 認知症多職種協働研修(回) | 脳の健康チェック(回) | 認知症カフェ(回)※ | 高齢者介護相談協力員(人) | 高齢者介護相談協力員研修(回) |
|----|------|-----------|-----------|---------------------|----------|----------|---------|-----------|---------------|-------------|------------|---------------|-----------------|
|    |      |           |           | 成年後見制度(件)           | 高齢者虐待(件) | 消費者被害(件) | 困難事例(件) |           |               |             |            |               |                 |
| 1  | おきだて | 685       | 1,157     | 3                   | 5        | 0        | 5       | 16        | 1             | 6           | 6          | 73            | 2               |
| 2  | すずかけ | 652       | 2,290     | 8                   | 7        | 0        | 7       | 12        | 1             | 3           | 3          | 48            | 2               |
| 3  | 中央   | 672       | 1,342     | 1                   | 0        | 0        | 5       | 9         | 0             | 4           | 4          | 105           | 2               |
| 4  | 東青森  | 1,838     | 3,478     | 14                  | 13       | 3        | 3       | 15        | 0             | 9           | 4          | 72            | 2               |
| 5  | 南    | 977       | 1,635     | 8                   | 2        | 0        | 14      | 15        | 1             | 10          | 20         | 67            | 2               |
| 6  | 東部   | 538       | 1,868     | 19                  | 4        | 2        | 0       | 12        | 1             | 7           | 4          | 92            | 2               |
| 7  | おおの  | 1,118     | 1,801     | 5                   | 8        | 0        | 0       | 14        | 1             | 3           | 12         | 90            | 2               |
| 8  | 寿永   | 625       | 2,771     | 39                  | 46       | 0        | 9       | 12        | 1             | 4           | 5          | 81            | 2               |
| 9  | のぎわ  | 457       | 2,066     | 8                   | 5        | 0        | 0       | 7         | 1             | 5           | 12         | 61            | 2               |
| 10 | みちのく | 691       | 1,678     | 11                  | 7        | 1        | 1       | 12        | 0             | 6           | 8          | 77            | 2               |
| 11 | 浪岡   | 1,238     | 2,562     | 19                  | 9        | 0        | 5       | 10        | 1             | 4           | 6          | 48            | 2               |
|    | 合計   | 9,491     | 22,648    | 135                 | 106      | 6        | 49      | 134       | 8             | 61          | 84         | 814           | 22              |